新居浜市 船木・泉川校区

ため池ハザードマップ

Niihama City Reservoir Hazard Map

このハザードマップには、ため池が決壊した場合に想定される浸水範囲や危険箇所などの災害情報と、避難所の位置、防災関連施設などを記載しています。いざというときには雨の状況や気象情報、災害情報などに十分注意して、安全に避難しましょう。

保存版

新居浜市

ハザードマップの使い方

防災対策の第一歩は、自分たちの地域でどのような災害が想定されているか知ることから始まります。このハザードマップを活用して地域や家族で「避難方法」や「危険な場所」などについて話し合い、予測の困難な自然災害に備えましょう。

ハザードマップが配布されたら、みなさんにお願いしたいこと

1 どこが危険な場所か知る ……… 裏面の地図

- 自宅や職場の周辺は、どのぐらいの浸水深が想定されていますか。
- 土砂災害のおそれはありますか。

2 いつ避難するか知る ……… 左下のページ

- 大規模な地震が発生したときには、すみやかに避難しましょう。
- 土砂災害や洪水時には、警戒レベルに応じて避難しましょう。

3 どこに避難するか確認する ……… 右下のページ

- ため池決壊による浸水の深さによって、避難行動は異なります。
- 建物の1階以上が浸水する場合（浸水深 50cm 以上）は、被害が発生する前に、浸水しない安全な場所（緊急避難場所、高台の道路、空地など）に避難しましょう。
- ただし、自宅の周辺がすでに浸水していたり、夜間で視界が悪く、屋外に出るとさらに危険な場合には、２階以上や近くの丈夫な建物などに緊急避難してください。

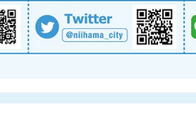
もっとハザードマップを活用するには…

実際に避難場所まで歩いてみる

避難場所に行く途中に、水路や急なガケなどの危険な箇所がないか確認しましょう。
自宅から避難場所までの所要時間も計っておきましょう。

地域の防災訓練に参加する

大規模な災害が発生したときには、交通の遮断などで孤立することも考えられます。
日頃から自主防災組織や地域の活動に参加し、災害に強いまちづくりに取り組みましょう。



ほかのハザードマップも確認する

2019年に全戸配布した「総合防災マップ」には、地震・津波・洪水・土砂災害のリスクマップや避難方法を掲載しています。

お手元にない場合は、市役所・支所・公民館・地域交流センターで配布しているほか、新居浜市ウェブサイトでも確認できます。

ため池決壊について

平成28年熊本地震や、平成30年7月豪雨などの近年の災害において、ため池が相次いで決壊し、下流の地域で被害が発生しています。地震や大雨によって万が一ため池が決壊した場合に備えて、ため池による被害が予想される範囲や、避難方法を確認しましょう。

» ため池決壊の起こり方

もし、ため池が決壊したら…

- 大量の水や土砂が濁流となって、瞬時に押し寄せます。
- 建物や車は押し流されます。
- 道路や住宅地、田畑は土砂に埋まります。

» ため池決壊の原因（地震と大雨）

地震

地震による強い揺れによって、堤防に亀裂や陥没などが発生したり、地盤が液状化してため池が決壊することもあります。南海トラフ巨大地震が発生した場合、新居浜市では最大震度７が想定されており、地震・津波・ため池決壊・土砂災害などの複数災害に注意が必要です。

氾濫シミュレーションの条件

ため池の氾濫解析は、それぞれのため池が満水のとき、大地震など何らかの原因で瞬時に決壊し、堰を切ったように水が流れ出したものとして行っています。
大きな河川に流れ込むことは計算されていますが、堤体が崩れることによる土石流、河川の橋梁に流木などが詰まること、小さな水路や建物などの障害物は考慮されていませんので、実際には違う流れとなる場合もあります。

大雨

集中豪雨や長雨、土砂災害や流木などによって、ため池の水位が上昇すると、堤防で漏水が起こったり、越水した水の勢いで堤防が侵食されて、ため池が決壊するおそれがあります。

わが家の避難メモ

あらかじめ、どのタイミングで避難するか、どこに避難するか、家族で確認しておきましょう。

① わたしの家は…

浸水の深さ

メートル

② 避難のタイミングは…

☑ 身の危険を感じたら

☐ 大規模な地震が発生したとき
ため池に異常がみられたとき

☑ 警戒レベルが発表されたら

☐ 警戒レベル３で避難する（高齢者など避難）

☐ 警戒レベル４で避難する（危険な場所から全員避難）

③ 早めの立退き避難先は…

近くの緊急避難場所

④ 逃げ遅れた場合…

2階以上
近くの丈夫な建物

家族・親戚・知人の連絡先

名 前	連絡先（会社・学校など）	携帯電話

緊急連絡先

市外局番：0897

☐ 消防（火災・救急・救助）	119	
☐ 警察（事件・事故）	110	
☐ 災害伝言ダイヤル（安否確認）	171	
☐ 新居浜市災害対策本部（水防本部）	65-1349	
☐ 防災行政無線・自治会放送内容電話応対システム	050-3797-2180	

☐ 新居浜市役所（代表）
TEL：65-1234　FAX：33-5180

	（TEL）	（FAX）
☐ 農地整備課	65-1263	65-1305
☐ 危機管理課	65-1282	33-5180
☐ 川東支所	46-1180	65-1235
☐ 上部支所	43-6101	65-1235
☐ 別子山支所	64-2011	64-2150

新居浜市ため池ハザードマップ
令和３年３月作成

このハザードマップに関する問い合わせ先
新居浜市　経済部　農地整備課
〒792-8585　愛媛県新居浜市一宮町一丁目５番１号
TEL：0897-65-1263（直通）

いつ避難する？ 土砂災害や洪水時には、警戒レベルに応じて避難しましょう

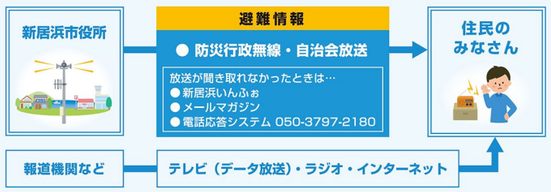
避難に関する情報や警報・注意報などの気象情報は、５段階の警戒レベルで伝えられます。
警戒レベル５では、すでに災害が発生している状況です。
警戒レベル３や警戒レベル４の段階で、地域で声をかけあって避難しましょう。

状況	気象状況が悪化	災害のおそれがある	災害のおそれが高い	災害発生または切迫
警戒レベル	1・2	3	4	5
避難情報	自主避難 注意呼びかけ	高齢者等避難	避難指示	緊急安全確保
雨	大雨・洪水注意報	大雨・洪水警報		大雨特別警報
風	強風注意報		暴風警報	
河川	氾濫注意情報 国領川（城下）	氾濫警戒情報 避難判断水位 2.30m	氾濫危険情報 氾濫危険水位 2.60m	氾濫発生情報
土砂	土砂災害に関するメッシュ情報		土砂災害警戒情報	
みなさんがとるべき行動	みずからの避難行動を確認	この段階で安全に避難しましょう 危険な場所から高齢者などは避難！	危険な場所から全員避難！	命の危険 直ちに安全確保！
	●避難に備えて、災害が想定される区域、避難先、避難経路をハザードマップで確認しましょう。	●避難に時間を要する人（高齢の方、身体の不自由な方、乳幼児等）と、その支援者は避難しましょう。 ●その他の人は、避難の準備をしましょう。	●すみやかに危険な場所から、避難先に避難しましょう。 ●緊急避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	●命を守るための最善の行動をとりましょう。

・市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル５は必ず発令されるとは限りません。
・警戒レベル３は、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。警戒レベル４までに必ず避難しましょう。
・内閣府／令和元年台風第１９号等を踏まえた避難情報及び広域避難等に関するサブワーキンググループによる最終とりまとめ（令和２年12月24日公表）を基に記載しているため、表現等は変更になる場合があります。

避難情報の伝達方法

避難情報が発令された場合には、さまざまな手段で住民のみなさんに伝達されます。
最新の情報を入手し、逃げ遅れることのないよう常に注意しましょう。



» 早めの避難を行うために、積極的に最新の情報を入手しましょう

スマートフォンアプリ「新居浜いんふぉ」

防災・災害情報などの配信のほか、GPSを利用した災害時の避難場所への道案内（ナビ機能）があります。

iOS　Android

新居浜市 防災ラジオ

普通のラジオとしてAM・FM放送を聴くことができますが、緊急時にはスイッチが入っていなくても自動的に専用チャンネルに切り替わり、大音量で緊急情報をお知らせします。緊急放送後は、放送前の状態に自動で戻ります。

ハローニュー新居浜 FM78.0

新居浜市独自のコミュニティFM放送局です。防災情報を迅速・確実にお知らせするのはもちろん、地域の情報から、市の魅力まで、ラジオでどんどん伝えていきます。

インターネットでもお聴きいただけます！
http://www.hello78.jp
m@hello78.jp
hnnfm78　新居浜 FM78.0

新居浜市 メールマガジン

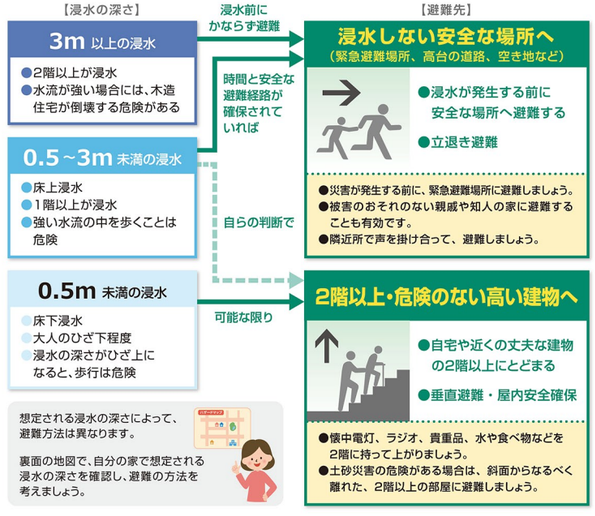
避難勧告などの情報をメールで受け取ることができます。
https://www.city.niihama.lg.jp/mobile/mailmaga/

新居浜市公式 SNS

Facebook @niihamacity
Twitter @niihama_city
LINE @niihama_city

どこに避難する？ ため池決壊による浸水の深さに応じて避難先は異なります

ため池による災害のおそれがあるとわかった場合には、すみやかに立退き避難してください。
逃げ遅れた場合は、２階以上や近くの丈夫な建物などに緊急避難してください。



想定される浸水の深さによって、避難方法は異なります。

裏面の地図で、自分の家で想定される浸水の深さを確認し、避難の方法を考えましょう。

» こんなときは避難しましょう

安全に避難するためのポイント

●動きやすい恰好で

リュックサック、ヘッドライトがあれば、両手が空くので便利です。丈夫な運動靴を履きましょう。

●冠水した道路は危険

蓋の外れたマンホールや側溝などが見えなくなり、転落のおそれがあります。

●お年寄りも一緒に

近所のお年寄り、身体の不自由な方、乳幼児など、災害時に援護を必要とする方に協力をお願いします。

●明るいうちに避難

夜暗くなってからの避難は危険です。夜に大雨が予想されているときは、夕方までに避難しましょう。

●川や用水路の様子を見に行かない

非常に危険です。インターネットで川やダムの水位を確認できます。

●土砂災害にも注意

災害は同時に発生するおそれがあります。山の近くに住んでいる方は、十分に注意してください。

» 非常持出品を準備しよう

» 備蓄のポイント

●非常食の備蓄方法として「ローリングストック法」があります。普段から少し多めにレトルト食品などを買っておき、使った分を新しく買い足すことで、常に一定量の食料を家に備蓄しておく方法です。
●災害時には、ガスや電気、水道が止まることもあるため、カセットコンロとカセットボンベも合わせて用意しておきましょう。